

▲ 支部探訪ー札幌

支部長 山本 隆晟

■ データによる支部白書

93人 会員数 うち女性33人(35%)

内訳・顧問2、審査会員16、会友11、一般64。

最年少は25才山田有人君。2010年学生道展で道知事賞受賞。社会人となり入会早々の例会で1位。仕事で多忙の時は母親が代理で作品を持参したり。最年少会友は昇格時43歳の添島均さん。他市町(恵庭・岩見沢・滝川・新十津川等)からあえて札幌支部に加入。

333点20人 前回59回写真道展入賞・入選数(複数部門の重複受賞を含む)

大賞1、2席3、3席2、入選27
近年はこの数字を前後しています。

第3金曜夜 月例会 道新2階会議室

毎月異なる審査会員を講師に作品の講評審査。会友・講師の模範作品披露が楽しみ。数多くの作品を見て勉強できます。プリント張り出しの他、フィルムとデジタルの両方のプロジェクターやパソコンが操作されます。

70点35人 毎月例会の平均的な出品数

1人2点ずつ四切プリント提出、選評を加えどちらか1点に絞られ、順位をつけます。成績は道新札幌圏版に掲載されます。知人から連絡が寄せられたり、反響が多いものです。累積点数で年間順位を決定。

■ 主な行事など

150〜180人 撮影会参加者

毎年7月第1日曜に開催、近年は「北海道開拓の村」で3名のモデルと風景の撮影会。道新と共催、富士フィルム・ヨドバシカメラ協賛で、近郊支部や一般の参加者も多数参加。
札幌開催のモデル撮影会では、どこよりも数多い参加者です。コンテストも実施、入賞作品展も開催されます。

1,470人 支部写真展入場者

3月に道新ぎやらりーで学生道展と併催。前回の作品数50点。(審査会員、会友含む)

例会での首位獲得は、道展入賞より難しいという人もいます。



「北海道開拓の村」モデル撮影会

ホームページ

月例会予定・月例成績、撮影会入賞写真等掲載。入会申込書もダウンロードできます。検索してください。

支部日より 全カラーA4版6頁 月例上位作品、道展入選作品等30点程紹介。写真スキャン、割付けの苦勞も「販売しては？」と好評で癒されます。年1回発行。



札幌支部会員展

■ 多数精鋭の集団？

個展グループ展・教室展

他の写真教室やクラブにも所属し、道写協と重複している会員が多く、3団体以上の人もいて、それら所属団体の写真展が頻繁に開かれます。

会友資格の25点を獲得済みながら、在籍年数5年を待つ会員。道展に応募を続ける為に会友にならず、あえて会員に留まる人。

写真雑誌「フォトコン」に頻繁に掲載される実力者も複数名。既にプロとして活動をしている人も在籍。

実行委員会からのお知らせ

■ 写真道展について

来年、写真道展は六十回の記念展を迎えます。これに伴い、さまざまな記念行事を計画していますが、その概要をお知らせします。

- ①呼称を「第六十回記念写真道展」とします。最高賞の作品は「第六十回写真道展記念大賞」となります。
- ②審査委員長は写真家水越武氏に依頼しました。
- ③特例として各部の入賞点数を二点増とします。また、これを機に全体の入選数を二十点増やします。
- ④大通美術館で公募作品と「審査会員・会友作品展」を同時開催します。それに従い会場費の関係もあり、審査会員、会友の出品料は五、000円に値上げとなります。また、歴代大臣賞受賞作品のパネルを展示します。
- ⑤一般を対象にした写真コンテストを八月に開催します。テーマは「わが家の夏休み」です。
- ⑥六十回展を記念し、例年の作品集に増ページして三十回展から後の道展の歩みを収録します。頒布価格は例年と同じ三、〇〇〇円です。
- ⑦来賓をお招きしての記念祝賀会を開催します。テーブル席で会費は六、000円です。

■ 道新と事務局の担当者の変更

道新の担当は塩野谷泰宏部長から逢見敬仁部長に代わり、また、事務局は秋庭彰徳さんから福島恵里さんになりました。